



下関市議会議長 関谷 博
～真の議会改革を目指して～

明けまして
おめでとーうございませう



議会だより

市出資法人調査特別委員会
調査結果報告

議会の情報は下関市の
ホームページから

<http://www.city.shimonoseki.lg.jp/>

輝かしい平成25年の新春を迎えるに当たり、市議会を代表いたしまして謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

市民の皆様には、平素から市議会に対し深いご理解と温かいご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。昨年を振り返りますと、東日本大震災からの本格的な復興・復旧が始まったものの、九州北部豪雨など、各地で被害が発生し、経済面では、円高やデフレなどによる景気後退の影響を受けて税収が減少するなど、国、地方とも厳しい一年となりました。

そのような中、本市では、「元氣・前進！下関」をキーワードに、下関市総合計画後期基本計画に位置付けた「6つの重点プロジェクト」と「7つの施策の柱」に基づき、積極的な施策が展開されています。市議会では、市民に開かれた議会、市民参加を推進する議会を目指し、市民の皆様の負託に応えていくため、今まで取り組んできた議会改革を基礎として、議会としてのあるべき姿を再構築した下関市議会基本条例を制定し、昨年4月に施行したところです。さらに、議員の政治倫理の確立を図り、市民の皆様に信頼される公正で開かれた民主的な市政の運営に寄与するため、下関市議員政治倫理条例を議会基本条例と併せ、昨年4月に施行しました。

市議会は、議会基本条例に基づき、さまざまな取り組みを行っております。まず、市民の皆様と議員が情報・意見交換を行うことを目的として、4回にわたる「市民と議会のつどい」を開催しました。これからも市民の皆様の見解を的確に把握し、政策形成に反映できるよう努力してまいります。

次に、常任委員会や議会運営委員会では、担当する事務について積極的に調査研究などを行うため、年度ごとの活動方針を策定し、決定した課題に鋭意取り組んでいます。議会広報の充実を図るため、従来の議会だよりに加え、昨年6月から4回のペースで、一般質問や代表質問の特集を議員自らの手で行い、充実した議会情報の提供を行っています。

この他、常任委員会や議会運営委員会の原則公開やインターネットでのライブ中継をはじめ、議会のホームページに議決結果や各議員の議案の賛否状況を公表するなど、市民の皆様が開かれた議会の実現を目指しています。

私たち市議会は、これからも積極的に議会改革を進めるとともに、市民の皆様への負託に応え、山積する市政の諸課題の解決に向け果敢に取り組み、市民の皆様が安心して



火の山から市街地を望む

て生活できる豊かなまちづくりに、精一杯努力してまいります。

私は、全国市議会議長会の会長として、地方の声を国政に反映させるべく、国と協議を重ねるなど、地方自治の振興のため、懸命に取り組んでまいりました。これからも、郷土下関をはじめ全国各市の興隆発展に努めてまいります。

どうか市民の皆様方におかれましては市議会に対し、一層のご支援・ご激励を賜りますようお願い申し上げます。

すがすがしい新年の門出に当たり、市民の皆様のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。新年のあいさつといたします。

市出資法人調査特別 委員会調査結果報告

▼調査の目的と方法

本特別委員会は、地方自治法第22条第3項に規定する法人の経営状況の調査を行い、各法人が定款などに定められた目的に沿って運営されているかの検証を目的に、平成24年6月27日の本会議で設置されました。

15法人から参考人を招き、平成23年度決算を中心に事業内容を聴取する形で調査し、平成24年第4回定例会本会議初日に、調査結果が委員長から報告されました。その抜粋を紹介します。

有限会社 豊田あぐりサービス

委員から、広域農道も開通し、今後はジビエ（捕獲したイノシシやシカなどの獣の肉）の処理施設もできることから、豊田農業公園「みのりの丘」のセールスポイント



▲秋のルーラル・里山フェア（みのりの丘）

を作る。一つの観光スポットになるくらいに意気込みを持ち、小月インターチェンジを利用して角島へ向かう市外の観光客を誘導できる取り組みを考えてほしいとの意見がありました。

財団法人 豊田湖畔公園管理財団

委員から、顧客のニーズは多様で、どう経営するか極めて難しいことは認識している。食堂の活用、昆虫の森という新たな施設の整備、アンケートによるアフターフォロー、特に子ども会の利用に対して、可能な範囲でのサービスの提供など、支配人の熱い思いは理解できる。しかし、道の駅との提携で提供している温泉の割引券配布サービスを入浴無料サービスとするよう交渉する他、スポーツ少年団などへの翌年の利用を打診するなど、リピーター確保に向けたさまざまな努力を求める発言がありました。

社団法人 豊浦産業振興事業団

委員から、平成23年度は結果的に赤字であるが、平成24年度の事業計画・予算書を見る限りでは、前年度の計画を踏襲するだけで、赤字解消に向けて何をしているか全く見えない。このままでは、会社そのものの存続も不安である。

バランスシートを見ても、正味財産は、ほとんど出資金しか残っておらず、結果的に今年度赤字であれば、出資金に手を付けることになるのではないかと。事業収入の増を図るための具体策はないのか。今は、具体的な対応策を検討し、単年度赤字になるよう鋭意取り組んでほしいとの発言がありました。昨年の当委員会調査結果報告では、戦略的な立場で6次産業化やグリーンツーリズム、ブルーツーリズムに関わっていく必要性を指摘していますが、このたびの調査の過程でも、再度指摘し、具体的かつ早急な実施を求めました。

株式会社 フィッシュヤリーナむろつ

冒頭、参考人から、当法人所有の第1棧橋は、市所有の第2棧橋とともに耐用年数が過ぎており、劣化も著しく、修繕してもメンテナンスに多額の経費が掛かるため、ユーザーに対して責任ある運営をすることが厳しい状況にある。棧橋を建設する余力もないため、市と協議の結果、当法人は棧橋経営から撤退したいと考えている。しかし、市の所有である食堂の利用者は、地元住民や近隣からの旅行者などであるため、棧橋の経営撤退後も食堂の営業は継続したいとの説明がありました。

委員から、撤退費用の捻出と、

解約に伴うユーザーからの預かり金返還後の給与の支払いを不安視する発言があり、参考人からは、棧橋を撤去するには約2000万円は掛かると考えており、その一部は、市と漁協から補ってもらった計画を立てている。経営を継続することは大変難しい状況にあるので、現状では、会社は一応清算せざるを得ないのではないかと説明がありました。

財団法人 下関市水道サービス公社

委員から、小規模貯水槽水道の管理指導業務に驚くほど無駄な作業が多い。そこまでの労力を使うことではない。必ずしも公社が実施しなければならないわけではない。事業を行っているのではないかと。職員を他のところに回した方が良いのではないかと。公益性も疑義があるとの厳しい意見がありました。

公立大学法人下関市立大学

既に幾度となく報道されているA講義棟トイレ改修工事に関する競争入札妨害、教員による旅費の不適切な処理、セクシャルハラスメントなどの不祥事が生じており、委員からは、小規模な組織では困難が伴うといえども、内部けん制制度は絶対必要である。組織を見直し、機能の強化を図ったと言いが、相変わらず契約も支払いも総務グループ長という同一人の決裁となっている。あえて言うところ、経営グループの新設などの改善が必要ではないかとの厳しい意見が述べられました。

◆第1回定例会(2月)◆

今後の定例会が予定されましたのでお知らせします。

なお、この日程は予定であり、今後変更となる場合があります。

日	曜日	会議など
13	水	本会議(提案説明など)
14	木	休会(自宅審査)
15	金	常任委員会
16	土	休会
17	日	休会
18	月	常任委員会
19	火	常任委員会予備日
20	水	休会
21	木	休会
22	金	休会
23	土	休会
24	日	休会
25	月	常任委員会予備日
26	火	常任委員会予備日
27	水	休会(整理日)
28	木	本会議(表決など)